

平戸市立大島中学校
令和4年度 学力の状況と向上のためのプラン

<学力向上プラン>

方 策 1	主体的に学習に取り組む「自学の力」を育成する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○「フォーサイト（生活ノート）」を使い、PDCAサイクルを意識づけ、自分の生活を創っていく力（自立力）を育成する。 ○「みんなの願いをかなえる学びを目指して（自学の手引き）」を作成し、3年間を見通した段階的な自学の力の達成目標を示すと共に、各教科からも具体的な自学の方法を提示する。 ○年に3回学習状況調査を行い、日々の学習の在り方を振り返り、生徒の課題を保護者と共有する。 ○生徒会と連携し、自学を習慣づける目標と具体策を立てる。
検証方法：目指す検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ○毎週水曜日に担任によるフォーサイト点検を行い、実態を把握する。 ○全校生徒に毎日自学を提出させる。 ○本校独自の学習状況調査を年3回実施して現状を検証する。 この調査の3回目で、毎日自学を行う生徒を8割以上にする。

方 策 2	言語活動の充実を図り、「読解力」や「表現力」を育成する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○2学期にリーディングスキルテスト（RST）を実施し、その結果を校内研究で検証する。各教科において検討した学習支援の方法を実践して、個別最適な学びに向かわせる。 ○読解力向上のドリルを朝学習の時間（毎月曜日）に全校で実施する。 ○学んだことを短い文章でまとめたり、発表したりする活動を各教科で計画的に取り入れる。 ○班で教えあったり、話し合いで課題を解決したりする活動を各教科で計画的に取り入れる。（協働的に考える目的の明確化と、活動形態の工夫）
検証方法：目指す検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ○リーディングスキルテスト（RST）を実施して正答率と回答率を把握する。生徒一人一人の分析を行い、アドバイスをする。 ○各種学力調査での「読解力」「表現力」に関わる項目の推移を分析する。

方 策 3	「基礎基本の定着」と「個に応じた指導の工夫」を行い、学力の定着を図る。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○研究授業の後に授業研究を実施し、その際の視点として「支援の在り方・有効性」に着目する。 ○数学でT.T.授業を実施する。 ○校内支援委員会と連動し、個に応じた課題設定を行う。 ○Chromebook（ドリルパーク）等で基礎基本を定着させる。
検証方法：目指す検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ○市学力調査において、市正答率よりも10ポイント以上を目指す。 ○各種学力調査の結果を比較すると共に、前年度実施の結果も参照し、個人の内容項目ごとの正答率が伸びているか検証する。